

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	消防救助指導会訓練撤収時における、ロープ端末で右眼部を損傷した事例
3. 体験した事例の中心的要素	消防救助指導会訓練終了後に、訓練塔の足場を訓練塔鉄製支柱にロープで固定する際、ロープの端末が右眼部に当たり負傷したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	決められた時間の中で施設の後片付けを行っており、時間に追われ、急いでいたことから事故に繋がった。また、高所での作業のため、転落防止の自己確保ロープはつけて転落防止対策は行っていたものの、勢いよく結索したロープの端末が自分に飛んで来ることまでは予測できなかった。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成26年4月22日 午前11時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外：訓練塔 3階
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	飛来・落下ぶつにぶつかる
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[救助(大会に向けた) ]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他： 消防救助技術指導会訓練終了後の撤収時
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

## 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[21]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士] 同様の活動[]、任務[隊員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動[]、任務[]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動[]、任務[]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

## 11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	隊員7名 (Aを含む)	施設の設定及び体操	
経過2	"	訓練開始	各種目に別れて訓練を行う
経過3	"	訓練終了 撤収	
経過4	A	撤収時ロープ端末で右眼を損傷	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

## 【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。資機材の操作がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかつた。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた(適切な指示を与えられなかつた)。

・活動指示が得られなかつた。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあつた。	いいえ
・指示内容が実施困難であつた。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

訓練における慣れやマンネリを無くし、訓練でも現場活動と同様に、常に危険が伴うことを隊員が認識を出来るように指導を行った。現場同様に安全・確実を基本として活動することを徹底した。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

現場検証を行うとともに、他にも設定、撤収時の注意点・改善点を各隊員で話し合い実行した。

○指揮・情報伝達の対策について